



健全な国保財政の運営が望めます (町循環器検診の様子)



佐藤照彦議員

国保行政

国保税の引き下げを

国保財政は厳しい

質問

① 国保税を引き下げ、町民の負担を軽減する考えはないか。

② 国保税の減免制度を拡充し、滞納者の増大に歯止めをかける考えはないか。

沼崎町長

① 平成十六年度の再算定を行ったところ、国保財政は非常に厳しい状況となっている。これは、長期的な景気低迷に伴う町民所得の減少や、リストラなどにより社会保険から国保へ加入する方が増えたこと、さらに医療費の増や、介護給付費納付金、老人保健拠出金の負担増などが原因で、予想以上の厳しさである。

本年度は、財政調整基金から多額の繰り入れを、せざるを得ない状況で、この基金の繰り入れにより、運営したい。

国保財政の健全化を考えた場合、来年度以降の

町の考えを聞く

税率などについて、いかにすべきか検討していかねければならない。

② 災害や低所得者などを減

免対象とする制度として、平成十五年六月に「山田町国民健康保険税減免要綱」を制定している。

病院問題

山田病院の医師確保は

外科医師の後任は決定

質問

① 県立山田病院は、町民の要望を無視し、平成十六年度から、一病棟に削減

が強行され、ベット数五十二床に大きく削減された。このことにより、地域医療にどのような影響がでているか。

② 山田病院の医師確保の現状と今後の見通しは。

沼崎町長

① 山田病院の四、五月の病床利用率は九五%でほぼ

満床の状態であり、ベッド数の削減による住民からの苦情などは今のところ無いようである。

② 医師確保については、医療局、岩手医科大などに要請しているが、厳しい回答が続いている。

六月に退職される外科医師の後任には、中央病院外科医師の赴任が決まった。今後も医師確保については、可能な限り努力したい。